

2026 年 10 月 13 日

各 位

ロシュ社によるバミキバルトに関する発表について
(非感染性ぶどう膜炎に伴う黄斑浮腫における 1 年データ)

中外製薬株式会社（本社：東京、代表取締役社長 CEO：奥田 修）は、ロシュ社が 10 月 10 日に、American Academy of Ophthalmology 2026 年次総会（AAO2026）において、バミキバルトの非感染性ぶどう膜炎に伴う黄斑浮腫（UME）を対象とした 2 つの第 III 相臨床試験（MEERKAT 試験および SANDCAT 試験）の 1 年データを発表し、メディアリリースを行いましたので、お知らせいたします。

発表された結果では、両試験においてバミキバルト投与群で視力および黄斑浮腫の改善効果が 52 週時点まで維持されました。また、16 週以降の必要時投与期間に移行した患者さんの約 3 分の 2 では追加投与を必要とせず、追加投与が必要となった患者さんの多くは 1 回の追加投与でした。なお、バミキバルトは 52 週時点まで一貫した安全性プロファイルを示しました。

詳細は、以下ロシュ社のメディアリリースをご参照ください。

Roche presents new Phase III one-year data for vamikibart in uveitic macular edema (UME), a serious cause of vision loss

<https://www.roche.com/media/releases/med-cor-2026-10-10>

以上